

# 府高退教通信

NO.246

発行  
〒543-0021

大阪府天王寺区東高津町七十一  
府教育会館7F 大阪府高教内  
大阪府立高等学校  
退職教職員のお会

TEL 090-1227-5142  
(末光)  
FAX 06-6768-1675

## 2021年9月

### 世界と日本が立つ地点 (北野定)

山上俊夫

現時点は、世界と日本とつてどんな意味があるのか。2001年9・11同時多発テロから20年。犯人を国際的に追いつめ処罰すべきところ、ブッシュは戦争だといいつつアフガンについてイラクにも侵攻した。報復と憎悪とテロの20年だった。

ソ連崩壊の前に資本主義の勝利宣言をしたのがアメリカ帝国主義と独占資本だ。新自由主義の饗宴がたっぷり出したものは格差分断と気候危機だった。

人類が使った化石燃料の半分がこの30年に費消された。北極の氷が解け、シベリアで38度の熱波が襲い、森林火災は住宅にまで押しよせる。CO<sub>2</sub>・45%削減目標の

2030年まであと9年。これに失敗すれば、後戻りの効かない破滅におちいる。安倍・菅強権政治の9年。安保法制強行、有無をいわせぬ辺野古新基地強行に森友・加計・桜・学術会議任命拒否。道理もなく、説得すべき言葉もたず、切り捨てるだけだ。100年に一度のパンデミック下で「PCR検査を広げると医療崩壊が起こる」と検査を抑制してきた。ところがオリンピックでは毎日PCR検査だ。

中等症以下のコロナ患者は原則自宅待機という究極の自己責任を押し付けた。そもそもコロナ拡大中に、75才医療費2割負担とベッド削減推進法を強行したのが自公維だ。

安倍も菅も通常国会が終わったら、憲法違反を問われても国会を憲法に問われない。安倍政治が法の支配、立憲主義を破壊してはばからないがゆえに、その番頭の菅政治に至つて最も煮詰まった状態になった。

### 野党共通政策を調印 新時代を開く総選挙に

9月8日、野党共通政策が調印された。4年前は、安倍が少子高齢化と北朝鮮の国難突破選挙だと目を狭いところに閉じ込めて多数をとった。今度は、国民の側からの国難突破選挙にしたいものだ。いまドイツでも総選挙中で、

第一の争点は気候変動対策という人が33%もいる。日本でも気候危機、ジェンダー平等を押し出して世界水準の新時代を開く選挙にしなければならぬ。

### 2021年度の府高退教の役員について

会長：貝谷安宏 (和泉市) 森田敏彦 (成城工大)  
副会長：長野邦子 (南寝屋川) 山尾邦子 (金剛) 山上俊夫 (北野定)  
幹事長：末光章浩 (西野田工科)  
会計：辻清孝 (泉南)

連山豊さん(池島)と松田皓平さん(港)が副会長を、高橋貞雄さん(金岡)が幹事を退任されました。連山さんと松田さんは引き続き幹事です。新たに長野さんと森田さんが副会長となりました。新幹事は、外山安隆さん(東百舌鳥)、長尾ゆりさん(布施工科)、前野博さん(和泉総合)です。



### 総会の議案書に、多数の意見・感想をいただきました。(掲載は順不同)

■阪本千明(千里)

さらっと全文を読み通しました。(多忙な現役時代には考えられなかったことです)。木川南小学校校長先生の勇氣ある提言、『生き抜く』世の中ではなく、『生き合う』世の中、『競争』ではなく、『協同』の社会には、私も感動しました。

■金子真知子(泉大津)

読みながら不破哲三氏の「科学の目」を思い出しました。選挙、がんばりましょう。

■長岡彰英(布施定)

今さらながら、「国権の最高機関」は国会である(41条)を思い返しています。

■深尾英一(東淀川)

「2012年体制」は、対極に野党と市民の共闘

の流れを生みました。総選挙を前に、激しい反共

分断攻撃があります。私たちは、階級闘争の弁証法を実地体験しています。

■池田三知代(長野)

1年間の活動の様子、よく伝わってきました。また毎回のニュース発行や送付作業、ありがたうございます。来る総選挙、何としても政権交代を実現したいですね。

■香川みどり(伯太)

コロナ禍における教職員員の疲弊からエネルギー問題まで、多岐にわたる現状認識が盛り込まれて、充実した議案書だと思えます。人と人のつながりが希薄になりつつある

■井川恵右(美原)

情勢報告は良い勉強になります。

■川崎康樹(貝塚南)

「1年間の内外の動き」改めて、菅義偉の政治の構造が見えてきました。

■岩田行平(牧野)

コロナ危機のもと、市民の生命も暮らしも守ることが出来ない、守ろうとさえしない。戦後76年、自民党、また自民・公明政権の行きついた果ての姿です。市民の市民による市民の為の政府を共に頑張りましょう。

■柿沼康隆(八尾南)

半藤一利さん、なかにし礼さんたちが他界されました。昭和史を語り、継いでいくことの重要性を痛感します。

■伊藤純一(高石)

オンライン教育は、人間が人間らしく育つのは「人間らしい人間」によって「人間らしく教育」を受けてこそ、という「基本原則」を忘れてはならない。

総会の議案に対する意見・感想の他に、多くの方から近況報告が寄せられました。以下ご紹介します。(掲載は順不同)

【近況報告】

2〜3時間かけます。散歩も毎日欠かさず、行っています。

■前田光男(堺上)

30人学級をすすめる会の活動を継続しています。コロナで世話人会へ行けないので、先日はリモートで久しぶりに参加しました。全国教育のうた、エフ協会の議長をしています。コロナでレッスンもままなりません。市民合唱団 Peace Gate というみの森合唱団で歌っています。

■阪本千明(千里)

週4日、私学の非常勤をしています。介護も終え、こんなゆつたりした夏休みは、中学二年生以来です。感染に気を付け、好きな卓球と園芸に励んでいます。皆様も、お元氣でお過ごしください。

■深尾英一(東淀川)

テレビの五輪・色報道に気分が悪くなり、読書時間が増えました。永井濤「反映と創造」で、ヘーゲルの「反省」概念を検討しているのですが、少々難解なので、ヘーゲルの論理学の勉強をしています。

■楠本辰作(高石)

自由社版中学歴史教科書の堺市での阻止する運動に取り組んでいます。

■外山禎彦(長野)

戦中戦後の頃、子供の間で流行った替え歌を私がよく知っている、との情報を得たので、NHKの取材を受けました。9月14日朝7:45「おはよう関西」で放映されます。よかったです。ご覧ください。

■菊井由雄(東百舌鳥)

退職してから、新聞をよく読むようになりました。

■鈴木克明(和泉総倉)

私は神奈川県江の島を望む海岸近くに住んでいます。コロナ禍で、京都・大阪への墓参りや法事もかなわず、未読本の読書と断捨離をしています。

■高橋貞雄(金剛)

7月下旬から8月上旬にかけて肺炎で15日間入院しました。医師からは「コロナではありません。肺炎です。即入院しないと命は保証できません」と言われました。体はだいぶ弱っていますが、まだまだ気力はあります。これからは府高退教のため微力を尽くします。

■辻本雅彦(泉尾)

年金・介護生活継続中です。膝臓ガンの手術後、抗がん剤治療も済み、現在は藤井寺工科全日制に週2日4時間行っています。小学4年から2才までの孫が6人います。

■石井至(西浦)

■川上憲一(和泉定)

映画「太陽の子」監督黒崎博を10数年来親しくしている20代の若者といっしょに鑑賞しました。その彼が「僕らは未来を作っている」と思っていた「にいたく共感の言葉を発したことに意を強くしています。

■赤羽根充男(桜塚全)

この混乱の世の中では、ますます科学を信じ、教育に大事にしよう。終結として「科学マジック」の本を出します。協力ください。

■山本陽子(平野)

世代的継承をすすめながら、政権交代の総選挙に取り組みんでいます。

五輪・パラ強行 医療崩壊



山岸 稔(桜塚定)

■荒西克招(池田北)

13日のNHK「終戦ドラマしかたなかった」と言っていたのは「熊野以素原作」を見ました。熊野さんの叔父が九大生体解剖事件の首謀者とされ、死刑判決を受けた。この事実誤認による不当判決をくつがえす妻のがんばりが死を受けいれる心境になっていた叔父に生きる意欲をともし、減刑をかけたところドラマだったが、1時間15分で描くには少し無理があったように思った。是非原作を読まれることをおすすめしたい。それから、遠藤周作の「海と毒薬」をあわせて読まれることを(読まれてない方は、おすすめしたい)。

■伏見信孝(阪南)

ドストエフスキーの長編『カラマゾフの兄弟』を何とか読み終えました。幾重にもはりめぐらされた「父殺し」をめぐる情景叙述の複雑さと興行の深さに圧倒されました。続編を暗示するエピソードだが作者の早すぎる最期のため(60才、それがかなわなかったことが残念です)。

■岡谷充男(西淀川)

理事長を務める(福)西淀川福祉会が今春から大阪市立保育所の運営を委託。3箇所運営となり、若い人達と平和や学習の運動に取り組んでいます。

■山根正弘(北千里)

先程(7日&8月10日まで)「硬膜下血腫 除去の為」入院しました。お互い自愛して、もう少し頑張りましょう。

■国富智子(布施工科)

59才で早期退職し、早や5年が過ぎました。日本の政治に憤りつつ(コロナ、オリンピック等々)、日々忙しく過ごしています。

■真中宏(春日丘)

今、私がしていることは、阪南市みんなで歌おう第九コンサートの準備と9月の市会議員選挙のために、あれもこれもと、忙しい日々をすごしています。合唱にはコロナが大敵。昨年は、涙をのみました。今年、なんとしよと少々あせっています。総会の成功を祈っております。

■井川恵右(美原)

84才年寄者組合(天北支部)の支部長、松川村9条の会の事務局として活動しています。地の利を生かし、軽登山を楽しんでいます。

■秦重雄(大手前定)

再任用終了後4年目は週2回4時間の非常勤で引き続き桜塚定で。若い先生方を見守るだけの歯がゆい立場看護学校志望生徒の個別指導をしています。自宅では課題読書、執筆活動、地域活動のメニューをこなしています。

■大亀信念(豊雲)

7月に、大学時代の学生運動の親友がガンで亡くなりました。改めて、悔いの残らぬ人生を送りたいと自身自身に問いかけました。富田林で、地道に、志を忘れず、がんばりましょう。

■仲森明正(渋谷)

(一) 3月に初めての孫(双子)が誕生しました。この子たちに平和で、もっと自由な社会をひきつづけるように頑張らねばと気をひきしめています。

(二) 昨年「資本論」の学習を4人でつづけています。脳も活性化させ、老化防止にもなります。また13章ですが、粘り強く続けていくつもりです。

■斎藤満佐子(枚方津田)

4度目の緊急事態宣言、慣れてしまった。自分の気持ちが悪く思っています。

■野村櫻(牧野)

運転免許更新の年。認知症のテスト、運転講習と無事終了した。動体視力の低下が目立ってきた。十分に注意しなければと思。

(以下、次号に続く)



当面の日程

- 【10月】
- 10月4日(月) 13:30 語を楽しむ会
- 茶臼山画廊
- 10月11日(月) 14:00 短歌を楽しむ会
- ガットネロ
- 10月15日(金) 14:00 第317回府高退教幹事会
- 「カトレア」